

18. 曙川中学校区 八尾市の未来を語るタウンミーティング（開催日時：平成21年2月10日）での意見への対応状況

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年4月現在)
<p>① 防犯対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 先日、町内で強盗事件が発生しました。防犯対策として、防犯カメラの設置をお願いしたいが、現在、八尾市ではどれくらい設置されており、今後はどうなるのかお伺いしたい。 ○ 防犯灯も多くなってきましたが、今回の件で警察から防犯カメラがないのか聞かれました。地域での犯罪も増えてきますので、プライバシーの問題もあるかと思いますが、1基でも2基でも設置してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商店街で自主的に設置されているところもありますが、行政が設置しているものはありません。市民活動支援基金などを活用して町会等でも検討して頂きたいと思います。 ○ 犯罪は暗いところで起こると思います。一戸一灯運動やまちをきれいにしていくことがまず犯罪を起させない第一歩だと考えています。八尾市内には約19,000個の防犯灯が設置されていますが、防犯灯に対する補助も今後上げていきたいと思っています。 ○ 八尾市は大阪府下の64警察署の中で、4番目に引ったくりが多いという状況にあります。行政や警察だけでは限界がありますので、まちを綺麗にしていくことなどによって犯罪も減少していくと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商店街で自主的に防犯カメラを設置されているところがありますが、行政が設置しているものはありません。 なお、防犯カメラの設置につきましては、犯罪の抑止力に効果が期待されますが、プライバシー保護の問題や維持管理の問題など課題も多く、慎重な対応が必要と考えております。

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>② 下水道整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 下水道整備について、高安西地域は遅すぎると思います。予定通り進んでいるのですか。また、他の地域の進捗も予定通り進んでいるのですか。 ○ 高安西地域の平成 23 年度までの下水道計画は計画通りに進んでいるのですか。 ○ 78%以外のところはどこが残っているのですか。 ○ 久宝寺から比べたらだいぶ遅れていると感じます。高齢者もいるので早く水洗化してほしいと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 八尾市の下水道普及率は平成 19 年度末で 78%まできています。平成 22 年度末で 83%を目標に進めてきています。八尾市は合流式での下水道整備を採用しているため、進みにくい状況にあります。外環状線の東側は計画区域に入っていますが整備が進んでいません。 ○ 計画通りに進んでいると思います。 ○ 外環状線に沿ったところや、八尾空港周辺が残っていると思います。 ○ 公共下水道事業で年間 110 億円ぐらい予算を使っています。計画は 22 年度まで示させていただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在、平成 22 年度末、下水道整備人口普及率 83%を目標に事業を進めており、概ね計画どおり事業進捗しています。本市の下水道は、大阪府の流域下水道の事業進捗にあわせて整備を行っているため、どうしても整備時期に、地域差が生じてしまう場合があります。 ○ 高安西地区の、近鉄線と恩智川に挟まれた地域では、平成 23 年度をめどに幹線、準幹線の完成を、恩智川と国道 170 号線に挟まれた地域は、平成 22 年度をめどに、幹線の工事発注をそれぞれ予定しており、その後、順次、皆様の生活に直結する枝管の、整備を進めて行く予定であります。 ○ 市域全体をみれば、外環状線に沿ったところ、八尾空港周辺の他、外環状線以東の山手市街地につきましても、整備が残っております。なお、私道の整備については、「公共下水道施設設置承諾」を頂く事が必要であり、申請制の採用など、効率的に承諾書の取得作業を行っておりますが、ご理解とご協力を頂きますようよろしくお願いいたします。

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>③ (1) 地震対策等について (地震被害)</p> <p>○ 昨年 5 月には中国の四川省で地震があり、11 月には上町断層が動いたときの資料が出され、大地震発生するときには大きな被害を受けるとのことでしたが、学校の中で子どもが死んでしまうようなことがあってはいけないと思います。阪神淡路大震災以後 14 年が経ちますが、市民も非常持出し袋をもらっていることも忘れていてはないでしょうか。安全・安心の点から国の補助も多くなっていると聞きます。学校の耐震化と、避難経路となっている恩智川の橋も大丈夫ですか。</p>	<p>○ 地震の問題については、八尾市には生駒断層もあります。また、東南海・南海地震が起これば 5 万人の被害者が出るとも予測されています。上町断層や生駒断層の情報については、調査資料を八尾市のホームページ上でリンクをはり公表しています。地価の問題や、住民に不安をあおるということもありますが、自らの命は自らで守るということもあり、これらの情報を公開しています。</p> <p>○ 避難経路についても自主防災組織等で訓練して頂き、高齢者への誘導等についても地域でどのようにしていくのか検討して頂きたいと思います。</p> <p>○ 現在、現状に合わせて地域防災計画を見直しております。</p>	<p>○ 阪神・淡路大震災など大規模災害による被害事象や教訓を風化させないよう、地域での研修会や訓練等を通じて、災害への備えや備蓄など家庭や地域での防災対策に関して引き続き、意識啓発に取り組んでまいります。</p>
<p>③ (2) 地震対策等について (学校耐震化)</p>	<p>○ 八尾市の学校の耐震化ですが、平成 19 年度末で約 20% となっています。耐震診断については、一次診断、二次診断と</p>	<p>○ 学校は子どもたちが学び、生活する場であるとともに、災害時における市民の避難場所でもあることから、学校施設における耐震化が急務であることは認識しております。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
	<p>順を追って行っていく必要もあり、その数値によって補助率も変わるなどもあります。耐震診断をできる業者も少ないなどの問題もあります。しかし、平成 22 年度末までに公的施設の耐震診断を終了できるように取り組んでいます。平成 27 年度末にすべてを終える方針を出して耐震化を進めています。まず避難所となっている体育館、その後校舎へと耐震工事を進めていきます。</p> <p>高安西小学校については平成 20 年度末に耐震診断は終了いたします。</p>	<p>そのうえで、今後は、体育館及び校舎の耐震診断につきましては、平成 22 年度完了を予定しており、耐震補強工事につきましても、耐震診断結果及び八尾市耐震改修促進計画にもとづき、早期実施に努めてまいりたいと考えております。</p>
<p>③ (3) 地震対策等について (橋)</p>	<p>○ 恩智川の橋については大阪府に対して耐震について聞いてみます。国策として平成 27 年度末までに耐震化 100%が示されていますので、大阪府も検討されていると思います。</p>	<p>○ 橋梁対策としては、緊急度に応じて、落橋防止対策工事を順次実施しています。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>④ 農業用水路について</p> <p>○ 農業用水路で開渠となっているものを下水に使われているところがありますが、市は把握していますか。最近、国・府から管理が市に移ったと聞いています。また、農業用水路が避難通路を分断しているところもあります。曙川中学校と南山本小学校の間の道は災害時に通路として使っていくようにしてもらいましたが、他にもこんな状況のところはたくさんありますので、利用できないかぜひとも検討をお願いいたします。</p>	<p>○ 農業用水路等は法律の改正になり、市に移管されました。長瀬川や玉串川も八尾市のものになりました。玉串川などの機能管理については、現在、築留土地改良区に業務委託をしております。また、河川を占有している個人の橋や駐車場などについては、3年を目途に八尾市に戻してもらうことを予定しておりますが、必要なものについては八尾市が再度契約していきます。</p> <p>○ 農業用水路については水路として使われていないものについては隣接地の方々に随時売却しています。学校の周りで避難経路として使えるものについては現場を見せていただいて判断していきたいと思います。基本は売却ですが、市民の安全・安心を第一に対応していきたいと思います。</p>	<p>○ 現在、八尾市内に存在する水路の多くは、用水機能と排水機能を兼ねたものとなっています。</p> <p>○ 公共下水道の未整備区域においては、水利組合等の関係者との協議が整った家庭の排水は浄化槽などを經由して農業用水路等に流されています。</p> <p>○ 次に避難通路の件ですが、一般的に水路上に蓋等を設置し利用する事は水路の管理上好ましくないと考えています。しかし、用水や排水路として必要の無くなった水路で、避難通路として利活用できるところについては、地域のご意見等をお聞きしながら検討してまいります。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>⑤ (1) 救急医療について(子育て支援)</p> <p>○ 少子高齢化を解消しないと八尾市の発展はないと思います。若い夫婦が安心して子育てができることで、明るい未来が描ける八尾市になると思います。子育て支援を充実して欲しいと思います。</p>	<p>○ 子どもは八尾市の宝だと思っています。新たに家庭をもたれる方や、子どもを大切にしていきたいと思っています。乳幼児医療費補助は、昨年7月からは今までの4歳までから就学前の6歳までに拡充しました。また、妊産婦健診補助については、平成20年度には2回補助としましたが、来年度からは14回の健診に対して1回につき2,500円補助をする仕組みを作っていきたいと思っています。また、教育環境につきましても、来年度、学校の全教室への扇風機取り付けや、保育所のトイレも改修したいと思っています。他では、就学前の子どもへの教育指針の検討や小中学校の適正規模の検討なども含め、子どもが学び育っていく環境づくりを整える様に取り組んでいきます。</p>	<p>○ 少子化は、全国的な現象ではありますが、その対応は本市においても重要な課題の一つと認識しております。そのため、平成21年度の市政運営方針にも「安心して子どもを生み育てることができる環境づくり」を重点取り組みとして掲げ、取り組んでいるところであります。</p> <p>その一例としまして、乳幼児医療費助成制度については、平成20年7月には通院の対象年齢を就学前まで拡充し、現在は通院(外来)・入院ともに就学前までの助成としております。</p> <p>また、妊産婦健診の助成については、平成20年度において従来の1回から2回に増やし、平成21年度より母体の保護や胎児の健康確保、ならびに健診に要する経済的負担の軽減を図るため、14回の健診を対象に1回につき2,500円の助成(受診券方式)を実施しております。</p> <p>○ 就学前の子どもに対しては、平成21年度に家庭教育の啓発冊子を作成し、幼稚園・保育所等を通じて各家庭に配布する予定としております。その活用も含めて、就学前児童の保護者に対する教育力の強化を図ってまいります。</p> <p>○ 保育・教育環境の改善としましては、今年度中に全学校の</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
		<p>全普通教室への扇風機を設置するとともに、公立保育所のトイレ等を集中的に改修いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小・中学校については平成 20 年度に「小中学校適正規模等審議会」を立ち上げ、より良い教育環境を整備し、充実した学校教育を実現するために、小中学校の適正規模等について、今後の児童生徒数の推移や傾向、課題等を含めて検討を進めているところです。 ○ 今年度、児童福祉審議会を開催し、在宅で子育て支援している家庭も含めた就学前児童を中心とする支援や施策について検討いただき、子育てがしやすい環境づくりに努めてまいります。
<p>⑤ (2) 救急医療について(救急について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 報道でも、NICUが空かない、受け入れができない、妊婦がたらいまわしになる等で子どもに重い障害が残ることもあると聞きます。八尾市が先駆けて対策を講じて欲しい。救急についても率先して対応して欲しいです。 	<p>※当日市長の説明はございませんでした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市立病院におきましては、市内で唯一の新生児特定集中治療室(NICU)を有し、大阪府地域周産期母子医療センターの指定を受けているところです。また、大阪府が実施する産婦人科診療相互援助システムに参画し、地域の産婦人科と連携しながらハイリスク分娩に対応しており、今後もこの体制を継続してまいります。
<p>⑥ 子育て相談について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 育児や子育ての相談ができる窓口を作って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 八尾市では年間約2,300人~2,400人の子どもが生まれています。今年 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 育児や子育て相談につきましては、子育て総合支援ネットワークセンター「みらい」において実施しています。

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
	<p>度、生後まもない赤ちゃんがいる家庭への訪問のしくみを作り、250件の家庭を訪問しました。平成21年度は、生後4ヶ月ぐらいまでの全ての赤ちゃんに訪問事業を行う予定です。他にはブックスタート事業も始めました。周産期等の医療につきましては、八尾市の3つの病院と連携しています。</p>	<p>ここでは、電話やメール、面談等で子育てに関する相談を専門の相談員が受け付け、必要に応じて関係機関と協力し、子育ての不安や負担感の解消に努めています。</p> <p>また、平成21年度から、生後4ヵ月までの乳児のいるすべての家庭を対象に全戸訪問事業を開始し、子育ての不安や悩みなどの相談、子育て関連の情報提供等を行い、乳児のいる家庭と地域社会をつなぐ最初の機会とすることで、乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図っています。</p> <p>さらに、平成20年度から4か月健診時に絵本を配布する、えほんデビュー事業を実施することで、赤ちゃんと保護者の方が絵本を介して言葉と心を通わせ親子で大切な時間を過ごしていただくお手伝いをしています。</p> <p>○ 安全で快適な妊娠・出産の確保については、引き続き周産期医療における連携を図るとともに、国に対して救急医療体制の整備や医師の養成・確保への取組み、さらには医療機関に対する財政的支援の拡充について働きかけてまいります。</p>
<p>⑦ 近鉄線関連について</p> <p>○ 近鉄山本駅の踏切の高架化の計画はあるのですか。踏切の自転車通行は危険で</p>	<p>○ 高架化計画はありません。近鉄やJRも含めて高架化等の事業については駅前</p>	<p>○ 昭和58年1月に近鉄八尾駅東から恩智駅間の高架化調査を実施しております。しかし、この区間の高架化には、高</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>す。</p> <p>○ 山本駅 3 号踏切は坂がきつく非常に危ない。雨の日は特に危険です。坂をなくして欲しいです。</p>	<p>再開発などとセットになっており、長期の計画となっています。JR八尾駅についても高架化を当分の間あきらめて橋上駅舎化を採択しなければなりませんでした。計画はあるができないのが実際です。踏切や交差点改良の事業については、近鉄とも協議してバリアフリー化等の検討を進めていきたいと思います。</p> <p>○ 現場を確認し近鉄と協議したいと思えます。</p>	<p>安の検車場・車庫や大阪港八尾線(都市計画道路)が既に高架になっていること等、課題が多くある状況で長期的な課題として取り組んでおります。</p> <p>○ 近鉄線の線路と周辺道路には相当な高低差があり、どちらかの高さを変えない限り段差が生じてしまいます。期間がかかると思われますが、現状の鉄道と道路の機能を保ちながら、改良に向けた協議を近鉄と進めて参ります。</p>
<p>⑧ ごみ袋について</p> <p>○ 半年に 1 回ごみ袋の配布がありますが、ごみ袋を使うのはほとんど可燃です。他の袋はほとんど余ります。また、余った可燃の袋を小学校に持たせていくと、学校は事業用のごみ袋を買っているので使えないとのことでした。なぜ子どもの教育の場からお金を取るのですか。</p> <p>○ ごみ袋は家庭により余るところや足りないところ色々あると思いますが、可燃は足りないところが多いと思えます。増</p>	<p>○ 昨年ごみ袋の枚数について見直しを行い、全体で 1 割の予算を削減しました。ごみ袋製作については半年ごとに入札を行っており、発注が終わっています。その後の対応について検討したいと思えます。小中学校のごみについては来年度から直営で回収するように対応しました。</p> <p>○ 家庭によって異なると思えますが、足りずはコミセンで配布しています。ごみ袋</p>	<p>○ 未使用のごみ袋につきましては種類を問わず、各出張所や本庁にあります返却ボックスに返していただきましたら、再利用させていただきます。</p> <p>また、家庭用可燃ごみ袋につきましては、ごみ減量の観点から一回一袋排出にてお願いし、配布しております。</p> <p>なお、本年度には容器包装プラスチック・ペットボトル・スプレー缶を分別品目に加えた 8 種分別の全市実施を行い、さらなるごみ減量を目指す予定ですので、ごみの分別等にご協力をお願いいたします。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>やして欲しい。</p>	<p>の枚数は可燃以外を減らすことはあっても、可燃を増やすことはありません。現在、西山本をモデル地域として8種分別を行っています。来年度には全市実施を行いますので、容器包装・ペットボトル・スプレー缶の分別にご協力をお願いいたします。ごみ1トンを燃やすのに14,200円を大阪市に払っています。ごみが1割減れば約1億円費用が減ることになりますので、市民の皆様のご協力をお願いします。</p>	
<p>⑨ 防犯灯について</p> <p>○ 学校周辺の道路が暗く、照明灯を3基つけましたが、電気代は町会持ちです。何とか協力してもらえないでしょうか。</p>	<p>○ 平成 21 年度には、学校周囲にLEDの照明灯をつけて明るくしていきたいと考えています。</p>	<p>○ 地域の安全・安心のまちづくりは、平成 14 年に制定いたしました「地域安全条例」において、市民・事業者・行政がそれぞれ主体的にその役割を担うということを定めており、その趣旨を踏まえて、防犯灯の新設及び取替えについては、町会が主体的に取り組むとともにそれにかかる費用並びに電気料金につきましても、町会で一定部分のご負担をいただくなど、その役割を担っていただいているところであります。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>⑩ 玉串川のトイレ設置について</p> <p>○ 玉串川は高井公園までトイレがなく、桜の時期には周辺地域で用足しをされて困っています。公衆トイレの設置を検討して頂けないでしょうか。</p>	<p>○ 玉串川については、護岸の改修や桜の補植などを、外環状線から山本駅までを最初の5年で、山本駅から東大阪市界までを後の5年で整備をしていきたいと考えています。その時に公衆トイレの設置についても検討していきたいと思えます。</p>	<p>○ 玉串川については、石積みの護岸の老朽化のため補修を要する箇所が増えてきており、今後大阪府により、護岸の改修工事を予定しております。この護岸改修工事に伴う整備については、今後地区の意見を聞かさせて頂きながら、その方法を検討していきたいと考えております。</p> <p>○ トイレの設置には、周辺地域の理解が必要なことから、設置に際しては、公園周辺の地域の方や公園愛護会等と協議を進めながら設置していきたいと考えております。</p>
<p>⑪ 文化・市民活動の1%予算について</p> <p>○ マニフェストに文化や市民活動に1%予算を配分すると書かれているが、予算総額の1%ですか、それとも税の1%ですか。</p>	<p>○ 一般会計約 850 億円の1%だと現在考えています。新たな1%というわけではありませんが、文化については、文化会館の改修に2億5千万円やコミセンでも補助を出しているなどの総額で1%としています。文化を創る、守る、育てることが大切だと思っています。欧米では、企業メセナなどや、文化は市民が守るなどといわれています。八尾市でも八尾メセナ協議会等も立ち上げていきたいと考えています。</p>	<p>○ 八尾市における地域分権のあり方や地域予算制度については、新総合計画（平成23～32年度）の策定と並行して、地域分権推進調査研究事業として、具体的な方法について検討していきます。検討の過程で、市民のみなさまのご意見をお伺いしたいと考えています。</p> <p>○ なお、1%予算についても、上記の中で検討していますが、を市民活動や文化に配分するという点については、新に1%相当の予算を捻出するものではありません。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>⑫ 高安駅のエレベータについて</p> <p>○ 高安駅のエレベータは東西両側で 2 基ですか 4 基ですか。また、工事は同時に行われますか。</p>	<p>○ 橋上駅になっていますので、構外に改札まで上がる 2 基とホームに下りる 2 基のエレベータ設置となります。工事の順番もありますので同時になるかどうか分かりませんが、平成 22 年度末までには 4 基設置する予定です。</p>	<p>○ 高安駅舎のバリアフリー対策については、平成 20 年度に基本構想を策定したところであり、今後は、平成 22 年度までに駅構内外に 2 基ずつ計 4 基のエレベーター設置等のバリアフリー化を完了する予定です。</p>